

D X推進アクションプラン 令和5年度取組実績一覧

(1) 施策の柱1 社会のデジタル化 (市民が豊かさを実感できるデジタル社会の実現)

取組期間	No.	個別施策の名称 （【共通】：社会・行政両方に共通する施策）	令和５年度取組み 上段：当初計画 下段：取組実績 （※㊦＝当初計画になかった新たな取組み）	定性的効果					効果の概要
				効果区分					
				時間と空間の節約	業務量の削減	担業の軽減率化（管理負担を含む）	コスト削減	安全・安心の確保	
短期	1	マイナンバーカードの普及促進【共通】	マイナンバーカード交付円滑化計画の推進 マイナンバーカード交付円滑化計画の推進 R4 年度末 交付率 70.24% 117,457 枚 R5 年度末 交付率 82.19% 136,206 枚 約 12% 18,749 枚増 ・ 休日臨時窓口の開設 ・ 福祉施設等への出張申請受付 ・ 事前予約制によるカード交付	○		○			【時間と空間の節約】 【業務の効率化（管理負担の軽減も含む）】 ○カード交付専用特設会場設置、受取事前予約制の導入により、これまで来庁するまで窓口の混雑状況が分からなかったが、窓口来庁の日時が指定できることで平準化され、待ち時間なくカードを交付することが可能となった
	2	電子申請対象手続きの拡大【共通】	電子申請手続きの拡大 電子申請手続きの拡大 R5 年度新規受付開始手続の申請実績 ㊦都市公園利用許可申請等（関連 7 手続）24 件 ㊦長期優良住宅認定申請 18 件 ㊦固定資産税に係る家屋調査の日程調整 191 件 ㊦高岡市被災事業者応援助成金 1 件	○	○	○			【時間と空間の節約】 【業務量の削減】 【業務の効率化（管理負担の軽減も含む）】 ○窓口対応にかかる時間が削減された ○電話対応にかかる時間が削減された ○紙申請によるデータ入力が必要なくなり、申請受付データの管理、加工などの効率化につながった
	3	データヘルス改革の推進【共通】	・ 病院情報システムの構築・運用 ・ 通院支援システムの構築・運用 ・ 国のデータヘルス改革の推進 ・ 病院情報システムの更新・運用 <どこでも市役所シリーズ 第9弾> ㊦通院支援システム（HOPE LifeMark コンシェルジュ）の運用開始（R6.3）			○	○		【業務量の削減】 【業務の効率化（管理負担の軽減も含む）】 ○オンラインでの保険資格確認が可能となったことで、資格変更等に係る過誤請求に関する確認作業の軽減、効率化につながっている
短期	4	キャッシュレス決済の推進【共通】	QR コード決済の導入 キャッシュレス決済の導入（QR コード以外の決済方法も追加） ・ 住民票等（15,642 通 17.2%） ・ 税証明等（2,296 通 13.5%） ・ 高岡市 藤子・F・不二雄ふるさとギャラリー（3,372 件 20.5%） ・ 高岡市御車山会館（414 件 12.9%）			○		○	【業務の効率化（管理負担の軽減も含む）】 ○日次の現金計算の作業が必要なくなった 【安全・安心の確保】 （非接触により、感染リスクが軽減されている）

取組期間	No.	個別施策の名称 （【共通】：社会・行政両方に共通する施策）	令和5年度の実施計画 上段：当初計画 下段：取組実績 （※㊦＝当初計画になかった新たな取組）	定性的効果					
				効果区分					効果の概要
				時間と空間の節約	業務量の削減	担務の軽減も効率化（管理負担を含む）	コスト削減	安全・安心の確保	
	5	問い合わせ対応のデジタル化（AIチャットボット）【共通】	A I チャットボットシステムの運用	○	○	○			【時間と空間の節約】 ○24 時間 365 日問い合わせ対応可能である 【業務量の削減】 【業務の効率化（管理負担の軽減も含む）】 ○電話等による問い合わせの削減につながった
			<どこでも市役所シリーズ 第6弾> A I チャットボットシステムの運用 ・対象分野拡大(R5.8) R4：21 分野 → R5：27 分野 ・回答率／アクセス数 R5:90.0%／37,538 件 R4:87.6%／9,388 件						
短期	6	オンライン会議の拡大【共通】	・オンライン会議の範囲の拡大・環境改善 ・外国人児童生徒就学支援におけるオンライン活用の環境整備	○	○	○	○	○	【時間と空間の節約】 ○会議、研修にかかる移動時間が削減された ○「家でも学べる講座」youtube 配信により時間、場所を選ばずに受講可能となった 【業務量の削減】 【業務の効率化（管理負担の軽減も含む）】 消防業務 ○消防による立入検査への出向人数が削減された ○消防による立入検査、研修など、オンラインを活用する機会が増えたことで業務の効率化につながっている ○オンライン環境が整ったことで、今後は、外国人児童生徒は支援の機会が増え、外国人児童生徒教育指導講師は学校間の移動時間の削減が見込まれる 外国人児童生徒就学支援 ○学校と外国人児童生徒教育指導講師、また外国人児童生徒教育指導講師同士の連絡や翻訳文書の共有等が容易になり、業務効率が向上し、就学支援の強化に繋がった 【コスト削減】 ○移動時間や燃料費の削減につながった 【安全・安心の確保】 (感染症拡大防止につながった)
			・オンライン可能な出前講座等の整備 ・出前講座 50 講座（66 講座中） ・「家でも学べる講座」youtube 配信（R5 追加：4 件、計 25 件） ・各業務におけるオンライン会議 [消防業務](R5 実績：会議等 38 回、研修等 35 回、リモート立入検査 10 件、講習会 その他 2 回) [保育業務] (R5 実績：オンライン研修[10 回]) ㊦外国人児童生徒就学支援におけるオンライン活用の環境整備 ・外国人児童生徒教育指導講師、在籍する各学校への環境整備（R5.12） ・外国籍児童生徒へのタブレット端末を活用した指導開始（R6.1）						
中期	1	官民データ利活用の推進	データ連携基盤の構築			○			【業務の効率化（管理負担の軽減も含む）】 ○県による県・市町村共同利用のデータ連携基盤が構築された。（R6 から防災分野における各種データの掲載を実施）
			㊦富山データ連携基盤の構築（R6.3）						
	2	デジタルデバインド（情報格差）対策	・初心者向けデジタル機器利用に関する教室の開催 ・地域におけるデジタル活用人材の育成推進					○	【安全・安心の確保】 ○講座参加者アンケート結果 ・「とても良い」・・・49% ・「良い」・・・44% ・「普通」・・・7% 「分かりやすかった」、「今後もスマホを利用したい」「まわりにも勧めたい」など
			・初心者向けスマートフォン講座 開催 5 回、参加 82 人 ・中級者向けスマートフォン講座 開催 38 回、参加 539 人						

取組期間	No.	個別施策の名称 （【共通】：社会・行政両方に共通する施策）	令和5年度の実績 上段：当初計画 下段：取組実績 （※㊦＝当初計画になかった新たな取組み）	定性的効果					
				効果区分					効果の概要
				時間と空間の節約	業務量の削減	担業の軽減効率化（管理負担を含む）	コスト削減	安全・安心の確保	
中期	3	IoT センサーを活用した取組み【共通】	・ 各種 IoT センサーを活用した、実証実験等の実施 ・ ドローンを活用した業務の実施 ・ 漏水監視センサー導入（102 基） ・ 水位・流速センサー導入（1 基） ・ 水位センサー導入（4 基） ・ ドローン活用（水管橋の定期点検（月 1 回）、捜索 3 件、火災原因調査 4 件、R5.7 月の大雨災害における林道の被災状況確認 4 か所） ・ スマートメーター難検針地の導入（沢川配水区 27 世帯） ・ スマートメーター（大口径メーター（工場））の導入検討 ・ トレイルカメラによるクマ出没対策実証事業 設置 4 か所 ・ 遠隔監視 現場映像伝送装置使用実績 20 件	○	○	○		○	【時間と空間の節約】 【業務量の削減】 【業務の効率化（管理負担の軽減も含む）】 ○水位（IoT）センサー ・ 降雨時のパトロール業務や下水道不明水の現地調査に係る時間が削減された 【安全・安心の確保】 ○遠隔漏水監視 ・ 漏水検知から修繕までのサイクルを短縮し漏水事故を未然に防ぐことができた（四屋 1 件：R6.1 能登半島地震） ○ドローン活用 ・ 危険箇所への立入が不要となり、職員の安全が確保された ○トレイルカメラによるクマ出没対策実証事業 ・ 令和5年度は検知されなかったが、捕獲隊等の専門家の意見も踏まえ、定点観測を継続 ○遠隔監視 ・ 現場に先着する消防隊から伝送される災害現場により正確かつリアルタイムな状況把握が可能となった
	4	地図情報のデジタル化（GIS の公開）【共通】	・ 地図情報の公開範囲の拡大検討 ・ 公開する地図情報の整備 <どこでも市役所シリーズ 第2弾> ・ デジマップ@たかおか（公開型 GIS）運用 R5：アクティブユーザー数：22,253 表示回数 29,869	○	○	○			【時間と空間の節約】 【業務量の削減】 【業務の効率化（管理負担の軽減も含む）】 ○市役所の窓口を訪れる必要があった情報がインターネット上で閲覧や取得することが可能となり、窓口対応にかかる時間の削減につながった

取組期間	No.	個別施策の名称 （【共通】：社会・行政両方に共通する施策）	令和５年度の取組み 上段：当初計画 下段：取組実績 （※㊦＝当初計画になかった新たな取組み）	定性的効果					効果の概要
				効果区分					
				時間と空間の節約	業務量の削減	担務の軽減効率化（管理負担を含む）	コスト削減	安全・安心の確保	
中期	5	市民・地域・行政の新たなつながりの創出【共通】	[市公式 LINE の運用] ・メニュー内容の充実・改善 [高齢者のデジタル推進事業] ・高齢者アプリの構築、アプリ連携基盤の導入検討 ・e スポーツの実施 [子育て支援アプリの運用（ねねットたかおか）] ・予約可能イベント等の拡充 [保育業務支援システム（Hoic）の運用] ・導入保育園の拡大 [地域内の情報連絡体制の確立（結ネット）] ・導入地区の拡大等 [市内公共施設への公衆 Wi-Fi 環境整備] ・順次運用開始 [市公式ホームページリニューアル] ・利用状況等の分析、サイト設計・構築 ・移行・リニューアル [万葉まつりホームページの開設] ・運用開始						【時間と空間の節約】 【業務量の削減】 【業務の効率化（管理負担の軽減も含む）】 ○保育業務支援システム（Hoic）の運用(2 園導入) ・保護者との電話対応に係る時間が削減された ○子育て支援アプリの新規機能追加（ねねットたかおか） ・育児教室等のイベント予約に係る電話対応時間が削減された ○地域内の情報連絡体制の確立（結ネット） ・会議の開催案内及び地域への情報提供にかかる時間の軽減になった ○市公式 LINE のサービス拡充 ・これまで一律の情報発信だったが、相手の好みに合わせた情報発信が可能になった ○たかおか電子図書館 ・図書館の開館日や開館時間にかかわらずインターネットを通じて 24 時間本の貸出・返却・予約が可能となった
			[市公式 LINE の運用] ・メニュー内容の充実・改善（R6.4 更新） [高齢者のデジタル推進事業] ＜どこでも市役所シリーズ 第 11 弾＞ ㊦TAKAOKA アプリの開発（R6.4 開始） ・e スポーツ交流イベントの実施（11 か所 112 人参加） ＜どこでも市役所シリーズ 第 5 弾＞ [子育て支援アプリの運用（ねねットたかおか）] ・アプリ登録者数 3,787 人 ＜どこでも市役所シリーズ 第 3 弾＞ [保育業務支援システム（Hoic）の運用] ・運用（2 園） [地域内の情報連絡体制の確立（結ネット）] ・結ネット導入地区（R5:2 地区（計 33 地区）） ＜どこでも市役所シリーズ 第 10 弾＞ [市公式ホームページリニューアル] ㊦リニューアル（R6.3） [万葉まつりホームページの開設] ㊦運用開始（R6.3） ＜どこでも市役所シリーズ 第 8 弾＞ ㊦たかおか電子図書館の開始（R5.11） ・登録者数 9,029 件、ログイン数 814 件、貸出数 222 件（R5.11～R6.3）	○	○	○			

取組期間	No.	個別施策の名称 （【共通】：社会・行政両方に共通する施策）	令和5年度の実績 上段：当初計画 下段：取組実績 （※㊦＝当初計画になかった新たな取組）	定性的効果					
				効果区分					効果の概要
				時間と空間の節約	業務量の削減	担業の軽の減効率化（管理負担含む）	コスト削減	安全・安心の確保	
中期	6	デジタルを活用した地域公共交通システムの利便性向上	・ 中田地区の「ノッカル」実証運行及び本格運行支援 ・ 地域タクシー運行地区への MaaS システムの導入支援 ・ 市内路線バス 1 日フリーパス乗車券の造成と併せて、交通事業者と連携した観光型 MaaS の活用検討 ㊦中田地区「ノッカル」本格運行開始(R5.11) ・ MaaS システムを守山地区の地域タクシー「もりまる」に導入支援 ・ 加越能バス「市内路線バス 1 日フリーきっぷ」造成及び観光型 MaaS「my route」「tabiwa」でのデジタルチケット化を支援	○		○			【時間と空間の節約】 【業務の効率化（管理負担の軽減も含む）】 ○LINE 予約が実装されたことで、利用者は 24 時間好きなときに予約が可能となり、利便性が向上した ○予約業務を担う交通事業者においても、LINE でされた予約は管理システムに即時反映されるため、電話で受付をした際のシステム入力作業が省略され、予約受付業務の負担軽減につながった
	7	災害対応力の強化【共通】	・ 高機能消防指令システム等の全面改修 ・ 防災情報一斉配信システムの構築 ・ 被災者生活再建支援システムの構築 ・ 高機能消防指令システム等の全面改修 ・ 音声認識プログラムの導入検討 ・ 映像通報受信装置の導入検討 ・ 高所監視カメラの導入検討 ㊦クラウド型車両動態管理システムの導入検討 ・ 防災情報一斉配信システムの運用開始（R5.9） ・ 被災者生活再建支援システムの構築					○	【安全・安心の確保】 ○令和 6 年度からの高機能消防指令システム等の全面改修事業に向け、導入の検討を行った ○防災気象情報を複数の伝達手段に対して、ワンオペレーションで迅速・正確に発信することが可能となった。併せて、スマホを持たない高齢者等への電話・FAX 通知、外国人への多言語メール配信が可能となった
	8	産業スマート化の推進	・ 産業スマート化事業支援補助金の実施 ・ 人材育成事業の取組に係る支援 ・ 産業スマート化事業支援補助金の実施（デジタル化事業補助 6 件）	○	○	○	○		【時間と空間の節約】 【業務量の削減】 【業務の効率化（管理負担の軽減も含む）】 【コスト削減】 ○市内事業者のデジタル技術が導入・向上したことで、企業活動の省力化や経営効率の向上が進んだ
長期	1	相談事案や解決事案のデジタル化（AI の利活用）【共通】	情報分析の方策検討 情報分析の方策検討 ・ 各課、関係機関等の多職種の情報連携を可能とするシステム導入に向けた運用ルール等の整理	○	○	○		○	【時間と空間の節約】 【業務の効率化（管理負担の軽減も含む）】 【安全・安心の確保】 ○AI の活用事例を調査し、本市における相談事案に活用できるかの検討を行った

D X推進アクションプラン 令和5年度取組実績一覧

(2) 施策の柱2 行政のデジタル化 (市民が利便性を実感できる行政サービスの実現)

取組期間	No.	個別施策の名称 (【共通】: 社会・行政両方に共通する施策)	令和5年度 の取組み 上段 : 当初計画 下段 : 取組実績 (※㊦＝当初計画になかった新たな取組み)	定性的効果						
				効果区分					効果の概要	
				時間と空間の節約	業務量の削減	業務の効率化(管理負担の軽減も含む)	コスト削減	安全・安心の確保		
短期	1	再掲 マイナンバーカードの普及促進【共通】 (社会-短期-1)	「(1) 施策の柱1 社会のデジタル化」で記載							
	2	自治体の行政手続きのオンライン化	・オンライン接続システム(申請管理システム)の運用 ・引越し(転出・転入(転居)予約)6手続きのマイナポータルでのオンライン申請 ・子育て、介護関係の一部の手続き 26 手続きのマイナポータルでのオンライン申請 ・オンライン接続システム(申請管理システム)の運用 ・引越し(転出・転入(転居)予約)6手続きのマイナポータルでのオンライン申請 1,065 件 (転出 574 件、転入予約 464 件、転居予約 14 件、転出取消 9 件、転入予約取消 4 件) ・子育て、介護関係の一部の手続き 26 手続きのマイナポータルでのオンライン申請 51 件 (子育て関係 15 件、介護関係 36 件)	○	○	○			【時間と空間の節約】 【業務量の削減】 【業務の効率化(管理負担の軽減も含む)】 ○オンライン申請可能な手続きが拡充され、市民が窓口に来庁する時間が削減された	
	3	再掲 電子申請対象手続きの拡大【共通】 (社会-短期-2)	「(1) 施策の柱1 社会のデジタル化」で記載							
	4	再掲 データヘルス改革の推進【共通】 (社会-短期-3)	「(1) 施策の柱1 社会のデジタル化」で記載							
	5	再掲 キャッシュレス決済の推進【共通】 (社会-短期-4)	「(1) 施策の柱1 社会のデジタル化」で記載							
	6	再掲 問い合わせ対応のデジタル化(AI チャットボット)【共通】 (社会-短期-5)	「(1) 施策の柱1 社会のデジタル化」で記載							
	7	再掲 オンライン会議の拡大【共通】 (社会-短期-6)	「(1) 施策の柱1 社会のデジタル化」で記載							

取組期間	No.	個別施策の名称 （【共通】：社会・行政両方に共通する施策）	令和５年度の実組み 上段：当初計画 下段：取組実績 （※㊦＝当初計画になかった新たな取組み）	定性的効果					
				効果区分					効果の概要
				時間と空間の節約	業務量の削減	担業務の軽減率化（管理負担の軽減も含む）	コスト削減	安全・安心の確保	
短期	8	入札関係事務のデジタル化 ※名称変更	電子入札システム導入 とやま電子入札システム運用	○					【時間と空間の節約】 民間事業者において、出場入札の際の来庁が不要となった
	9	文書事務のデジタル化	・文書管理のデジタル化・ペーパーレス化の推進 ・公共施設図面電子化 ・文書管理のデジタル化・ペーパーレス化の推進 ・公共施設図面電子化（R5 年度～R9 年度）	○		○	○		【時間と空間の節約】 【業務の効率化（管理負担の軽減も含む）】 【コスト削減】 収受、回覧・決裁等の文書事務が効率化され、ペーパーレス化によるコスト及び文書保存スペースの削減につながっている
	10	意思決定事務の迅速化（電子決裁）	電子決裁システムの運用・事務改善 電子決裁システムの運用・事務改善	○		○	○		【時間と空間の節約】 【業務の効率化（管理負担の軽減も含む）】 【コスト削減】 ○支払業務に係る時間、作業が軽減された ○書類保管場所や廃棄に係る時間が削減された ○紙の出力がなくなることで、用紙やファイル、印刷料等が削減された
	11	業務知識や業務経験のデジタル化	・各課マニュアルの共有・運用 ・グループウェアを利用したマニュアルの共有・運用開始	○	○	○			【時間と空間の節約】、 【業務量の削減】、 【業務の効率化（管理負担の軽減も含む）】 既存グループウェアの機能を活用し、マニュアルの共有化、運用を開始した
短期	12	働き方改革の推進	・在宅勤務の運用（感染症対応、緊急時等） ・リモートワーク環境の見直し検討 ・ビジネスチャットの利用職員の範囲拡大 ・在宅勤務の運用（感染症対応、緊急時等） ・リモート会議の活用 ・オンラインによる研修受講の奨励 ・ビジネスチャットの利用職員の範囲拡大 （R5：アクティブユーザ数 941、 メッセージ数 316,396） （参考 R4 アクティブユーザ数 701 メッセージ数 162,281）					○	【業務の効率化（管理負担の軽減も含む）】 ○リモート会議やオンライン研修により、参加者の移動に係る時間が削減できたほか、遠距離の相手との会議が容易となったことで、意見交換等の機会が十分確保され、業務の質の向上が図られた ○ビジネスチャットの拡大により、電話連絡に要していた時間が削減された

取組期間	No.	個別施策の名称 （【共通】：社会・行政両方に共通する施策）	令和５年度の実組み 上段：当初計画 下段：取組実績 （※㊦＝当初計画になかった新たな取組み）	定性的効果					
				効果区分					効果の概要
				時間と空間の節約	業務量の削減	担業務の効率化（管理負担の軽減も含む）	コスト削減	安全・安心の確保	
中期	1	自治体の情報システムの標準化・共通化	・ 現行システム経費調査 ・ 調達方針検討 ・ 調達仕様書作成 ・ 調達方針決定 ・ システム調達プロポーザル ・ 現行システム経費調査 ・ 標準仕様書調査（６業務） ・ 文字情報基盤文字同定業務 ・ 調達方針検討、調達仕様書作成、調達方針決定 ・ システム全体経費試算	○	○	○			標準準拠システムへの移行に向けて、国の標準仕様書と現行システムとの比較分析について、標準化対象の 20 業務のうち 6 業務において実施し、現行業務との差異や課題の洗い出しを実施した 標準準拠システムの導入にかかる県内自治体の共同調達に向けた方針の検討、仕様書の作成を実施した 【時間と空間の節約】 【業務量の削減】 【業務の効率化（管理負担の軽減も含む）】 ○標準準拠システムへの移行は、窓口業務のデジタル化と合わせて取り組みを進めることで、市民の利便性向上のみならず行政業務の効率化が図られ業務量の削減が期待できる
	2	自治体情報ネットワークのセキュリティ強化	自治体情報ネットワークの強靱化に向けた機器更新 自治体情報ネットワークの強靱化に向けた機器更新 ・ 個別システムの仮想サーバへの統合			○		○	【業務の効率化（管理負担の軽減も含む）】 【安全・安心の確保】 ○庁内の物理サーバを仮想サーバに統合することで、各機器の管理負担が軽減されるほかサーバ機器の不具合等のリスクの軽減を図った ○市が管理する情報ネットワークのセキュリティ対策の徹底と強化を実施した
	3	再掲 IoT センサーを活用した取り組み【共通】 （社会-中期-3）	「（１）施策の柱１ 社会のデジタル化」で記載						
	4	再掲 地図情報のデジタル化（GIS の公開） 【共通】 （社会-中期-4）	「（１）施策の柱１ 社会のデジタル化」で記載						
中期	5	業務プロセスのデジタル化（AI・RPA）	・ RPA の県内自治体との共同利用 ・ RPA 対象業務の拡大検討 ・ AI-OCR の導入実施 ・ RPA の県内自治体との共同利用 ・ RPA 対象業務の拡大検討 R5 新規 4 件、計 11 件 ㊦AI-OCR の導入業務実施 R5 新規 7 件、計 7 件（帳票は 10 件）	○	○	○			【時間と空間の節約】 【業務量の削減】 【業務の効率化（管理負担の軽減も含む）】 ○紙の帳票をデータ化することで、RPA によるシステム入力自動化や、情報加工が容易になる等、時間の節約や業務の効率化につながった
	6	再掲 市民・地域・行政の新たなつながりの創出 【共通】 （社会-中期-5）	「（１）施策の柱１ 社会のデジタル化」で記載						

取組期間	No.	個別施策の名称 （【共通】：社会・行政両方に共通する施策）	令和５年度の実組み 上段：当初計画 下段：取組実績 （※㊦＝当初計画になかった新たな取組み）	定性的効果						
				効果区分					効果の概要	
				時間と空間の節約	業務量の削減	業務の効率化（管理負担の軽減も含む）	コスト削減	安全・安心の確保		
中期	7	再掲 災害対応力の強化【共通】 （社会-中期-7）	「（１）施策の柱１ 社会のデジタル化」で記載							
	8	校務の効率化	校務クラウドストレージサービスと統合型校務支援クラウドサービスの運用						【業務の効率化（管理負担の軽減も含む）】 ○校務データの一元管理により、一度登録したデータを有効活用し業務の効率化を図ることができた（成績や出欠データを通知表・指導要録・調査書等に連携） 【安全・安心の確保】 ○高いセキュリティにより個人情報の漏洩を防ぎつつ、どこからでも安全にアクセス可能である	
			校務クラウドストレージサービスと統合型校務支援クラウドサービスの運用				○	○		
長期	1	窓口案内のデジタル化	市民の利便性向上に向けた情報収集・検討	○		○			【時間と空間の節約】 【業務の効率化（管理負担の軽減も含む）】 ○来庁しないと混雑状況が確認できなかったが、スマートフォンやPCで状況が確認可能となっている	
			<どこでも市役所シリーズ 第２弾> ・窓口混雑状況のリアルタイム配信							
	2	窓口業務のデジタル化	窓口業務のデジタル化に関する調査			○			【業務の効率化（管理負担の軽減も含む）】 ○書かないワンストップ窓口の推進に向けて、窓口利用体験調査を実施し、課題等を洗い出し、方策決定、予算化を行った	
・書かないワンストップ窓口の推進 窓口業務のデジタル化に関する調査・方策決定 （R5.6 窓口利用体験調査実施）										
	3	再掲 相談事案や解決事案のデジタル化（AI の活用）【共通】 （社会-長期-1）	「（１）施策の柱１ 社会のデジタル化」で記載							